

幼保小接続期連携アプローチ&スタートカリキュラム

「おかや絹結プログラム」

(R4.3月)

もくじ

あいさつ		2
1 岡谷市における入学期の子どもたちの現状と課題		3
2 全体構想		4
3 アプローチ&スタートカリキュラムの構想		5
4 幼保小接続期連携の重要性と「おかや絹結プログラム」編纂の目的.....		6
5 「おかや絹結プログラム」のねらい		7
6 「おかや絹結プログラム」で育む力		8
(1) 4つの「育ちの芽」		
(2) 11の「育ちの根」		
7 「おかや絹結プログラム」全体の構成		12
8 カリキュラム表		14
9 つなぎシート		24
10 週単位表		26

ごあいさつ

「おかや絹結プログラム」に寄せて

言うまでもなく、子どもたちはかけがえのない存在。無限の可能性を秘めています。「知性＋個性、それが真の教育のゴールだ」という金言が示すように、いかに知性と個性を育んでいくかが問われています。

子どもたちは、保育園や幼稚園に入園後、それぞれの園で温かく見守られながら「遊び」を中心とした生活の中で創造的な経験を重ね、そこでの学びを体いっばいに満たして、小学校に入学します。そのように夢や希望を持って入学してくる子どもたちが、小学校でさらに大きく成長していくためには、幼保小の接続期の取り組みが大切であり、私たち教育に携わる者は、「子どもたちの学びは連続している」ことを改めて確認し、幼保小の連携を一層充実させていく必要があります。

岡谷市では、関係者による委員会を設け、園校それぞれで行っていた接続期の取り組みが、より効果的に機能するために、活動の内容や系統性を精査し、「アプローチ&スタートカリキュラム 『おかや絹結プログラム』」を構築しました。それぞれの園校がそのカリキュラムに基づいて接続期の子ども支援にあたることによって、どの園からどの小学校に入学しても、全ての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようになることが期待されます。

本プログラムが、幼児期の教育から小学校教育へと子どもたちのすこやかな育ちにつながり、知性と個性を豊かに育んでいくための一助となることを心から願っております。

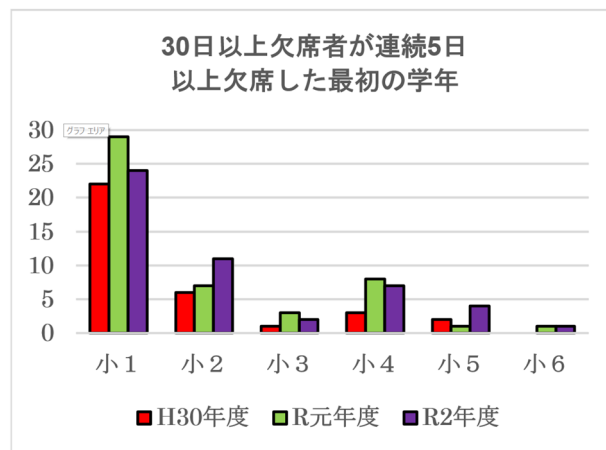
令和4年3月

岡谷市教育委員会
教育長 岩本博行

1 岡谷市における入学期の子どもたちの現状と課題

岡谷市の小中学校では、児童生徒の欠席状況調査において、年間30日以上欠席した児童生徒が5日以上欠席した最初の学年が何年生であったかについて経年調査を行ってきました。令和2年度までの3年間の調査結果は資料1のとおりです。

年度	学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
H30	小	22	6	1	3	2	0
	中	40	2	4	4	4	1
	計	62	8	5	7	6	1
R元	小	29	7	3	8	1	1
	中	42	12	3	3	3	5
	計	71	19	6	11	4	6
R2	小	24	11	2	7	4	1
	中	37	13	3	1	5	1
	計	61	24	5	8	9	2



資料1

この調査結果から、長期欠席児童生徒が最初に欠席傾向を示し始めるのは小学1年生時であることが圧倒的に多いことがわかります。このことから園小接続期の子ども支援の重要性と同時に、小学1年生時の欠席傾向を抑えることができれば、その後の長期欠席児童生徒の減少につながることを期待できると言えます。

小学1年生時に欠席傾向を示し始める児童の数が、他の学年時に比べて多い傾向が見られる原因の一つとして、いわゆる「小1プロブレム」の課題が挙げられます。「小1プロブレム」とは、小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に座ってられない、先生の話を受けないなど、学校生活に馴染めない状況が続くことです。これは全国的な教育課題として取り上げられていますが、岡谷市においてもその傾向が見られると言えるでしょう。小学校に入学した子どもたちが、新たな学校生活への期待を持ちながらも、幼稚園や保育園での生活環境と異なる学校生活に対して不安を抱えていることで、こうした学校不適應の姿を生み出していると考えられます。

こうした子どもたちの不安の軽減を図り、安心して学校生活をスタートできる環境を整えていくことが、長期欠席児童生徒の減少とともに「小1プロブレム」の解消、さらには入学期の児童の伸びやかな成長につながるものと期待されます。

また、岡谷市では、一つの小学校に入学する子どもが複数の保育園・幼稚園に在園していたり、一つの園に在園する子どもが複数の小学校に入学したりする状況があります。このことから、幼保小連携の充実を図るためには、幼保園同士および小学校同士の連携充実を図ることが必要と考えられます。

2 全体構想

幼保小接続期連携 アプローチ&スタートカリキュラム おかや 絹結プログラム kinuyui-program

岡谷市市民憲章

あたたかい心でまじわり、住みよい人権尊重のまちをつくります。
自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。
心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。
教養を高め、かおり高い文化のまちをつくります。
仕事に誇りを持ち、豊かな産業のまちをつくります。



第5次岡谷市総合計画「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち

おかや子育て憲章

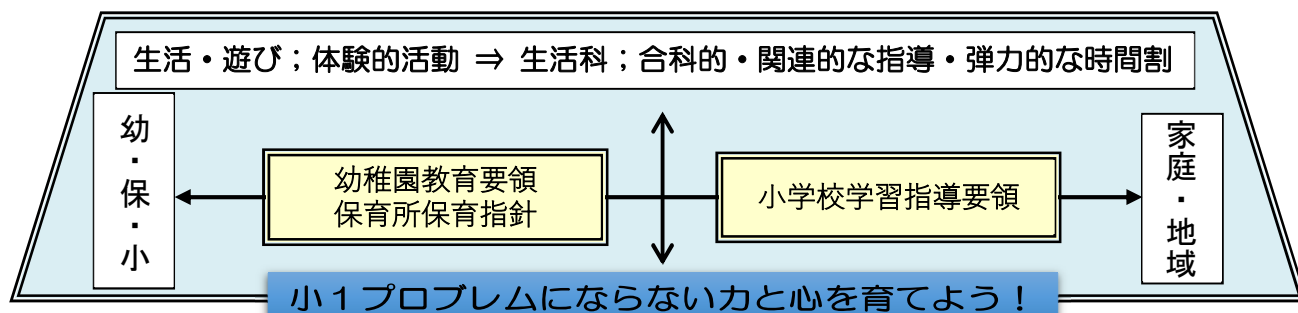
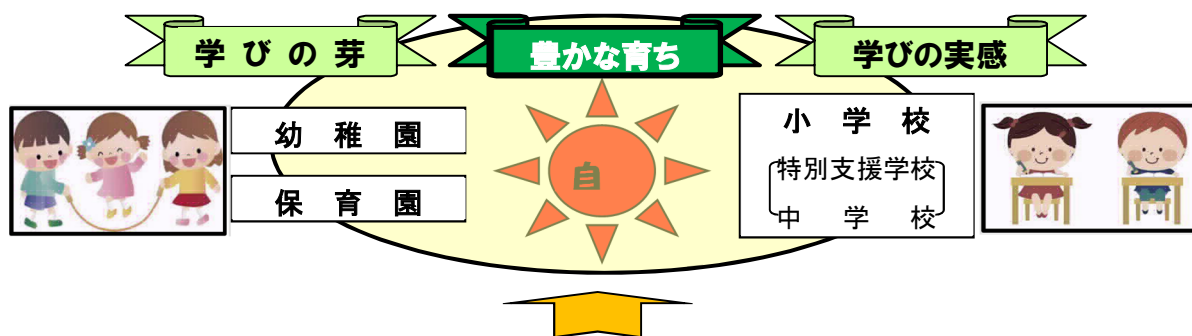
わたしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

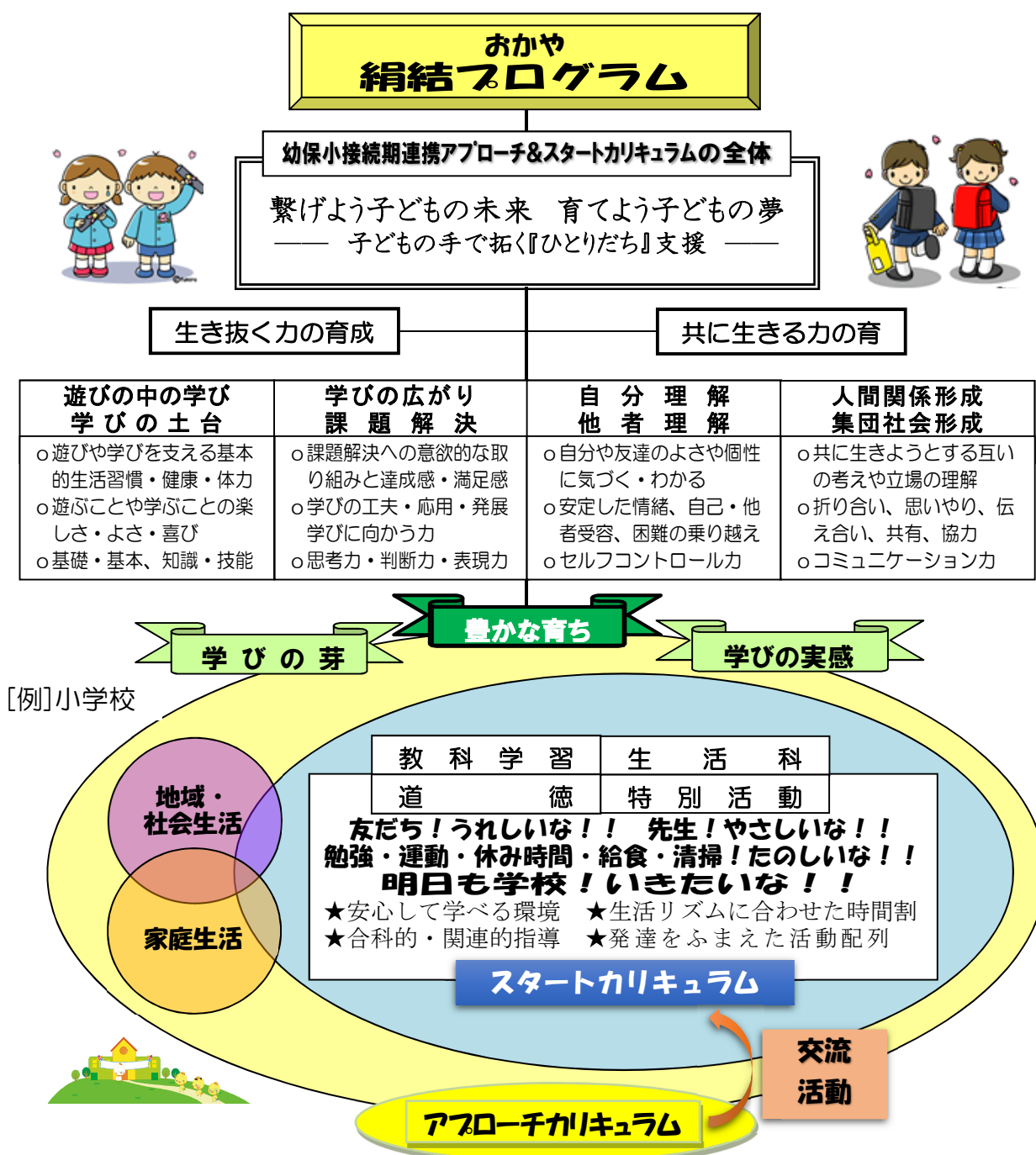


岡谷市教育の理念 自立し、共生し、創造性溢れる「岡谷のひと」づくり
学校教育スローガン 生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

アプローチ&スタートカリキュラム おかや『絹結プログラム』 連携から接続へ



3 アプローチ&スタートカリキュラムの構想



アプローチ&スタートカリキュラム「おかや 絹結プログラム」のは、幼児期と児童期の接続期を円滑につなぐ子どものためのプログラムです。アプローチカリキュラムは、卒園に向けた概ね6～3ヶ月前から行い、子どもの育ちを確認しながら小学校での生活や学習を意識した幼児教育や保育を行います。スタートカリキュラムは、入学後の概ね4～5月にかけて行い、幼児期に体験した遊びの要素と学校生活や教科学習の要素を組み合わせた合科的・関連的指導を行います。

絹結プログラムは、岡谷市がめざすまちづくり・子育て・教育の理念を基にしています。小1プロブレムを乗り越え、登校を楽しみとする子ども達のひとりだちを願って推進して参ります。

4 幼保小接続期連携の重要性と「おかや絹結プログラム」編纂の目的

これまで、幼保園では小学校入学を控えた年長園児に対し、入学後の小学校生活への円滑な適応と伸びやかな成長を目指し、様々な支援をしてきました。

同様に小学校でも、入学直後の1年生児童に対し、小学校生活への段階的適応を目指し、様々な取組を行ってきています。その主な内容は資料2のとおりです。

資料2 園小における接続期の取組

【幼保園 卒園期の取組】

- ・集合、整列など集団行動の基礎となる活動
- ・身の整理整頓など基本的生活習慣の習得につながる活動
- ・姿勢、挙手、返事など学習習慣の基礎となる活動
- ・お絵かき、造形遊び、読み聞かせなど豊かな感性を育む活動
- ・友だちや年下の子との関わりを育てる活動 など



【小学校 入学期の取組】

- ・学校施設を知り、小学校生活への期待を高めるための活動（学校探検 など）
- ・新しい友だちや先生に慣れるための活動（自己紹介 など）
- ・給食の準備や食べ方について知り、給食への期待を高めるための活動
- ・清掃の仕方を知り、協力して取り組めるための活動
- ・安全な登下校のための活動 など

幼保園や小学校におけるこれらの取組は、「子どもたちが主体的に自己を発揮し新しい環境下において自らの生活を創り出していく力を育む」という目的で一致しています。これまでの園校での取組を、それぞれ「アプローチカリキュラム」および「スタートカリキュラム」として位置付けながら、その取組の内容や方法を園校間で共有していくことが重要であると考えます。

子どもたちにとって、園での経験の上に小学校での取組が重ねられていくことが、幼保小接続期連携のために効果的かつ効率的であることは言うまでもありません。園校でのこれまでの取組を基盤にしながら、それらを入学期を迎えた子どもたちにとって無理や矛盾のない活動として統合・整理し、系統化を図ることで、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの一体化を目指していきたいと願っています。

また、岡谷市内の保育園・幼稚園および小学校が、統合・整理・系統化されたプログラムに準じて活動を構成していくことで、市内のどこの園からどこの小学校に入学しても、全ての子どもにとって効果的な接続期連携が図られるものと期待しています。

上記のことから、岡谷市では、これまでの園校での取組をを包括的に統合し、幼保小接続期連携の一層の充実を図ることを目的として、「おかや絹結プログラム」を編纂することとしました。

5 「おかや絹結プログラム」のねらい

「おかや絹結プログラム」を編纂するにあたって、以下の5点のねらいが具現できるように配慮しました。

（１）必要な活動の系統化

入学前後の活動が無理なく効果的に機能し合うよう、幼保園での活動と小学校での活動の系統化を図ります。

（２）活動の共有

市内どこの幼保園からどこの小学校へ入学しても取組の共有と引継ぎができるように、主な活動を例示し、活動状況の引き継ぎの仕方を示します。

（３）園校の主体性と普遍性

それぞれの園校の主体性を尊重した上で、園校や担任および年度による取組に大きな差異が生じないように、活動内容や支援のあり方についての指針を示します。

（４）活動の更新

プログラム編纂後も、それぞれの園校の取組についての情報交換や研究協議を重ね、より効果的・効率的な取組に更新していきます。

（５）職員の確かな目

職員が子どもの様子を観察したり支援したりする際の観点がより確かに、より明らかになるようにします。

「おかや絹結プログラム」の命名に寄せて

岡谷市は製糸業によって発展をとげた街である。当時の工女たちは、繭から細い糸を一本一本たぐり寄せ、それらを結び合わせて生糸に紡いだ。その生糸を精練して生まれる絹は、丈夫で美しい光沢をもつ。

幼少期の子どもたちは様々な可能性を秘めている。しかし、それらはまだ微かであり、断片的であり、不安定である。その秘められた可能性を大切に紡ぎ、確かで輝く将来に繋げていく営みは、さながら工女たちの紡績の業に似ている。

私たちは、入学期を迎えた子どもたちに対し、絹糸を結うようにその成長を支援し保障していきたいと願い、幼保小接続期連携における幼保園および小学校でのカリキュラムの具体的取組を「おかや絹結プログラム」と名付けた。



6 「おかや絹結プログラム」で育む力

(1) 11の「育ちの芽」

以下の資料を参照し、本プログラムで目指す子ども像を11の「育ちの芽」として、以下A～Kのようにまとめました。

＜参考資料＞・厚生労働省保育所指針 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ア～コ
・文部科学省中央教育審議会幼児教育部会配布資料
「幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿（参考例）」イ～ラ

A 健康な心と体

- ・充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、自ら健康で安全な生活をつくり出せるようになる。
- ・目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしたりして、主体的に取り組む。
- ・体の諸部位を十分に動かす。
- ・自分の健康や安全に対する関心を持ち、自分の体を大切にする気持ちをもつ。
- ・衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動が自分でできる。
- ・集団での生活の流れなどを予測し、見通しをもって取り組む。

B 自立心

- ・自分でしなければならないことを自覚して行う。
- ・自分の力で行うために考えたり、工夫したりする。
- ・自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感をもつ。
- ・自信をもって行動する。

C 協同性

- ・いろいろな友だちと積極的に関わり、友だちの思いや考えなどを感じながら行動する。
- ・相手に分かるように伝えたり、相手の気持ちを察したり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら分かり合う。
- ・関わりを通じて互いの良さを分かり合う。
- ・共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして実現に向けて力を発揮する。

D 道徳性・規範意識

- ・してよいことと悪いことの区別を考えて行動する。
- ・まわりの人の気持ちを大切に考え、思いやりをもって接する。
- ・きまりがあることがわかり、守ろうとする。
- ・友だちと折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。

E 他者や社会との関わり

- ・地域の様々な人々に、自分から親しみの気持ちをもって接する。
- ・家族を大切にしようとする気持ちをもつ。
- ・関係の深い人々との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じる。
- ・地域の伝統的な行事に触れ、自分たちの住む地域に親しみを感じる。

F 思考力

- ・身近な事象や物との関わりの中で、物の性質や仕組みについて考えたり気付いたりする。
- ・様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自分の考えをよりよいものにするようになる。
- ・身近な物や用具などの特性や仕組みを生かし、工夫して使う。

G 自然との関わり・生命尊重

- ・自然に出会い感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ。
- ・同じものでも季節により変化することを感じ取ったり、変化に応じて生活や遊びを変えたりする。
- ・自然の素材や現象を遊びに取り入れたり自然の不思議さを確かめたりする。
- ・動物の世話や植物の栽培を通じて、生きているものへの愛着を感じ、生命の不思議さや尊さに気付き、感動したり大切にしたりする。

H 公共心

- ・友だち同士で目的に必要な情報を伝え合ったり、活用したりする。
- ・公共の施設を訪問したり利用したりして、自分と関係の深い場所であることがわかる。
- ・様々な行事を通じて国旗や市旗・校旗に親しむ。

I 数量・図形、標識や文字等への関心

- ・自分たちに関係の深い数量や図形の特徴などに関心をもち、数えたり、比べたり、組み合わせたりする。
- ・文字や標識が、人と人をつなぐコミュニケーションの役割をもつことに気づき、読んだり、書いたり、使ったりする。

J 言葉による伝え合い

- ・絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
- ・相手の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話したりするなどして、言葉を通して友だちや教職員と心を通わせる。
- ・イメージや考えを言葉で表現しながら、必要に応じて文字を読んだり、書いたりする。

K 豊かな感性と表現

- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、楽しく豊かに表現する。
- ・感じたことや考えたことを音や動きなどで表現したり、自由に書いたり、作ったり、演じたりする。
- ・友だち同士で表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友だちと一緒に表現する過程を楽しんだりする。

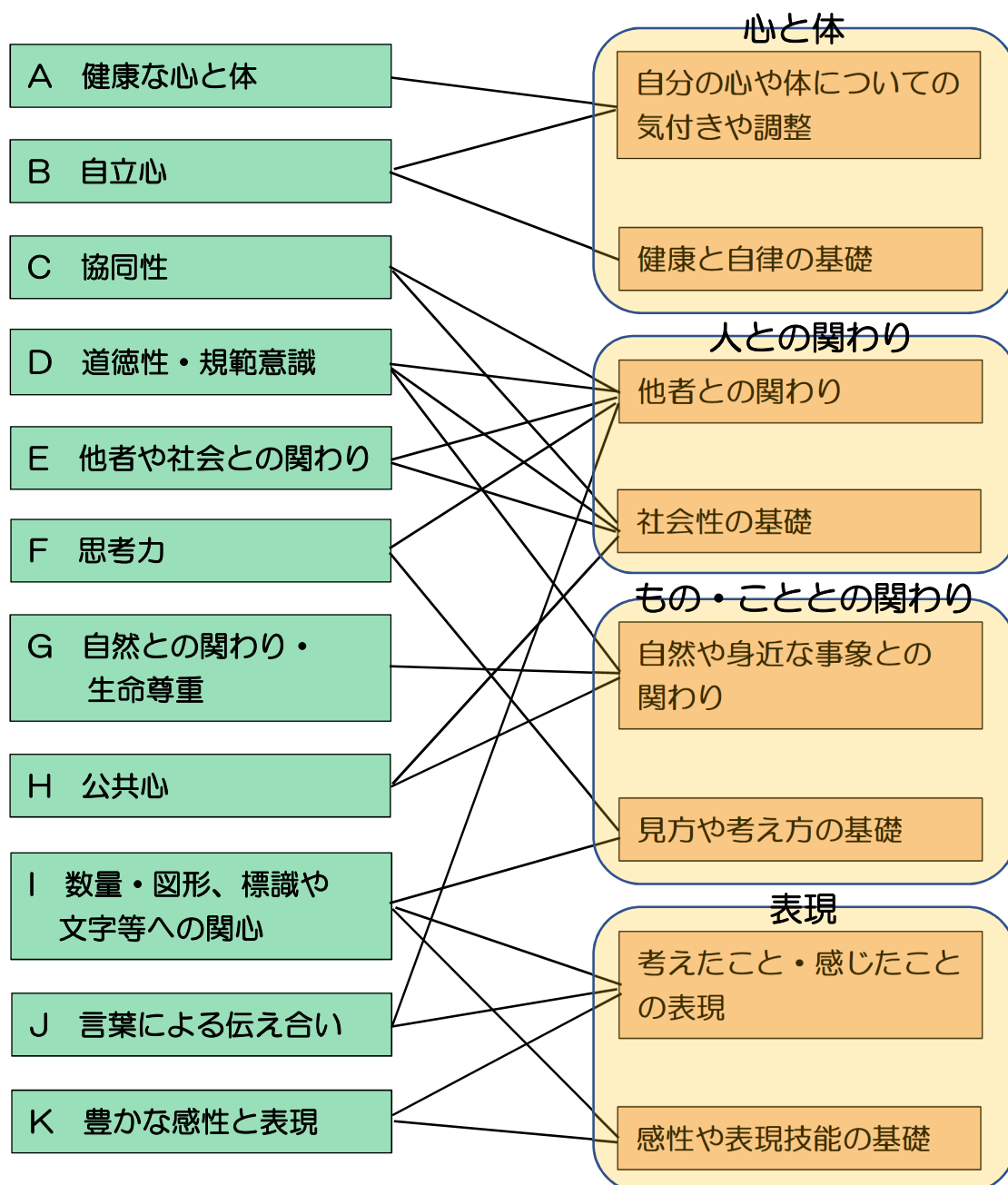
(2) 4つの「育ちの根」

前項で挙げたA～Kの「育ちの芽」の中には、互いに関連し合う内容が含まれています。

例えば、「A健康な心と体」に示した「目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしたりして、主体的に取り組む」は、「B自立心」の「自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感をもつ」と関連します。

また、「C協同性」の「いろいろな友だちと積極的に関わり、友だちの思いや考えなどを感じながら行動する」は、「D道徳性・規範意識」に示した「友だちと折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する」の基盤になっていると言えます。

このように、11の「育ちの芽」を互いに関連し合う内容で整理・統合すると、以下のようにまとめられます。



このことは、「育ちの芽」として子どもたちに願う姿が、互いに関わり合いながら、相互補完的に、あるいは相乗的に育まれるものであることを示しています。

本プログラムでは、11の「育ちの芽」を整理・統合し、芽吹きを促す基盤として、以下の4つを「育ちの根」としてまとめました。

①心と体

- ・自分の心や体についての気付きや調整に関すること。
- ・健康と自律の基礎を培う。

③もの・こととの関わり

- ・自然や身近な事象との関わりに関すること。
- ・見方や考え方の基礎を培う。

②人との関わり

- ・自分と関係が深い他者との関わりに関すること。
- ・社会性の基礎を培う。

④表現

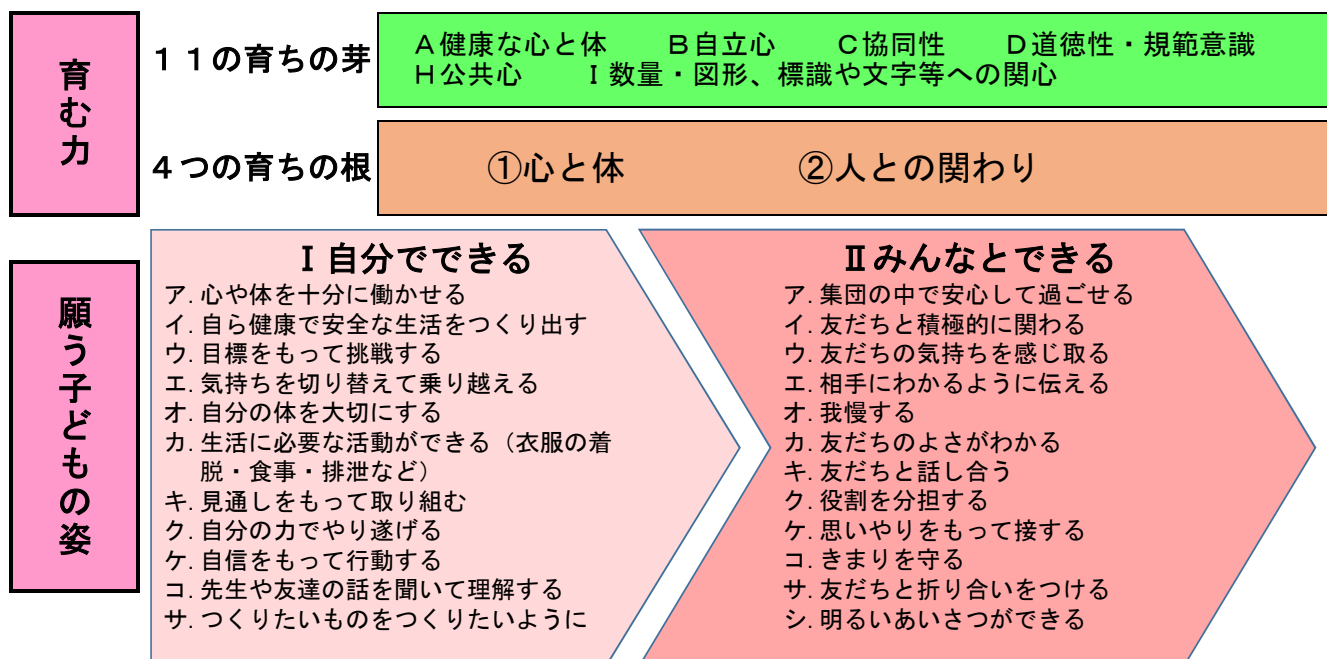
- ・自分が考えたことや感じたことの表現に関すること。
- ・感性や表現技能の基礎を培う。

育ちの芽



7 「おかや絹結プログラム」全体の構成

本プログラムで目指す力を育む場面として、年長時から小学1年生時までの活動（例）を以下のように構成しました。さらに、それぞれの活動で大切にしたい視点を「願う子どもの姿」から抽出しました。



段階		年 長 時									
		アプローチカリキュラム									
実施期		6月	9月	10月		11月	12月	1月	2月	3月	
行事		小学校運動会	園運動会	遠足 小学校音楽会			発表会	正月 体験入学	節分	ひなまつり お別れ会 卒園式	
活動名		小学校の運動会に行こう	楽しい運動会	遠足に行こう	大きなさつまいも	ごっこ遊びをしよう	表現遊びを楽しもう（発表会）	冬は友だち	豆まきをしよう	うれしいひなまつり	ありがとう保育園
大切にしたい視点	①心と体	I-アウキ	I-アイエ ウ II-オ	I-アウ	I-イウカ ク II-ク	I-ケ II-アイサ	II-イク	I-アウク II-オ	I-アエサ	I-アサ II-カ	I-ウキ II-ケ IV-ア
	②人との関わり	I-キコ II-ア III-イ	I-キケコ II-ウカキ ケサ	II-オケサ	I-キ II-クケコ	II-イキケ	I-ク II-キシ	II-イオキサ III-ク	I-コ II-エコ	I-コ II-アイエ ケ	II-アキ III-イケ IV-ウ
	③ものとの関わり	II-コ III-アウケ	I-カキケサ II-イウコ キ III-ウ	I-ア II-カ III-キ	II-キ III-アエケ	I-サ II-ケ	I-ウクサ	I-アキサ	I-キケサ II-ア	III-カケ	II-コク III-ウオ
	④表現	III-クケコ	I-アキケサ II-エカ III-カキコ	III-コ IV-エ	I-サ III-ケコ	II-エ III-ク IV-コ	II-エ III-カキ	I-キ III-コ	I-サ III-ク	I-サ III-キケコ	II-ウエオ III-ケコ
支援および連携		・小学生からの招待状 ・要配慮園児について連絡、連携	・年長児としての活躍の場	・小学校から招待状	・地域との交流	・地域との交流					・体験入学 ・交流会

E 他者や社会との関わり F 思考力 G 自然との関わり・生命尊重
J 言葉による伝え合い K 豊かな感性と表現

③もの・こととの関わり

④表現

Ⅲ入学への期待を高める

ア. 公共の施設を訪問する
イ. 小学校の先生や1年生と関わる
ウ. 国旗や市旗・校旗に親しむ
エ. 数量や図形の特徴に興味をもつ
オ. 文字や標識を読んだり、書いたり、使ったりする
カ. 絵本や物語に親しむ
キ. 豊かな言葉や表現を身に付ける
ク. 言葉による伝え合いを楽しむ
ケ. 相手の話を注意して聞く
コ. 感じたことを言葉や文字、絵、音、動きなどで表現する

Ⅳ小学校生活を知り、楽しむ

ア. 入学の喜びを感じ、小学校生活への期待を高める。
イ. 小学校の生活環境になじみ、安心して生活する。
ウ. 新しい友だちや先生に慣れ、関係を築く。
エ. 好奇心や意欲をもって、学習に取り組む。
オ. 自分の役割を理解し、自分から行動する。

小 学 1 年 生 時

スタートカリキュラム

4 月							5 月		
第1～2週			第3～4週				第1～2週	第3～4週	
入学式 給食開始			1年生を迎える会					運動会練習	
学校たんけんをしよう	おいしい給食	きちんとせいとん	あたらしい友だち	学校をきれいにしよう	じょうずにかけるかな	おにいさんおねえさんよろしくね	みつけたよはる	こんにちはおさがおさん	がんばろう運動会
I-ウキ II-アケ III-イ IV-アウ	I-イカ	I-カ	I-エ	I-アケ	I-ウク	I-ア II-アシ IV-ア	II-エ IV-イ	I-キ	ケ-アキ
I-コ II-イ III-イケ IV-イウ	II-クコ	II-コ	II-イカキ	I-コ	I-コ	I-コ II-イカ III-ケ IV-ウ	II-イウキ	II-エ	I-コ II-アカ
II-コ III-イウケ IV-イ	IV-オ	IV-イ	IV-ウ	II-クコ	III-イオ	III-オ IV-イウ	IV-イ	II-ケコ	I-エ II-オ
III-キコ IV-エ	II-エ	III-エ	III-ケ	I-ウ	III-オコ	II-エ III-ケ	I-コ II-エ III-イコ IV-エ	I-ウコ II-ケ III-キコ IV-エ	I-ウコ II-エ
							・子どもの発見やつぶやきを大切に		

8 カリキュラム表

幼稚園での取り組み（アプローチカリキュラム）および小学校での取り組み（スタートカリキュラム）を、それぞれ10例ずつ挙げ、ねらい・活動内容などをカリキュラム表①～⑩にまとめました。

カリキュラム表①

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	小学校の運動会に行こう			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	6月 第1～3週	
課題(弱み)	小学校への期待はあるが、知らないことが多く不安な姿が見られる。			
可能性(強み)	どんなことをするかが分かると、楽しみにする姿がある。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体	何をするのかを理解し、自信をもって参加できる。			
②人との関わり	友だちと一緒に安心して参加することができる。			
③もの・こととの関わり	学校の先生に注目して、話を聞くことができる。			
④表現	自分の力でやり遂げることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・小学校の運動会に参加し、入学への期待を持つ。 ・何をするのか理解し、友だちと一緒に元気に参加する。	・小学校の運動会について知る。 ・友だちと一緒に参加する。 ・参加してみようと思ったか話をする。	・期待を持って参加できるよう、どんなことをするか知らせる。 ・個々の期待や不安を受け止めていく。	A健康な心と体 E他者や社会との関わり J言葉による伝え合い	・散歩 (学校の庭で遊ぶ運動会の練習を見せてもらう学校探検など)

カリキュラム表②

		○ アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム	
活動名		楽しい運動会			
園・校名		〇〇保育園	カリキュラム・クール		8～9月 第4週～第5週
課題（弱み）		体を動かすことは好きであるが、集団で友達と合わせて行動することが苦手な子の姿が見られる。			
可能性（強み）		共通の目的に向かい繰り返し練習する中で、友だちと一緒に表現する楽しさや喜びを感じる。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		体を動かすことを楽しみ、自分の力を最後まで出して取り組める。			
②人との関わり		共通の目的に向かい、友達と協力しながら意欲的に活動できる。			
③もの・こととの関わり		運動会に必要な物を工夫しながら作ることができる。			
④表現		音楽に合わせて体を動かし、友だちと一緒に表現する喜びを味わう。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽		行事等との関連
体を十分動かすことを楽しむ。友だちと力を合わせてやり遂げた達成感を味わい、自信を持って活動する。	・当日を楽しみに、練習を積み重ねていく。 ・共通の目的を持ち、友だちと一緒に励まし合い認め合いながら取り組む。	・一人ひとりの頑張りを認め、自信を持って活動できるようにする。 ・「クラス全員で取り組む」ということが意識できるよう声がけをする。	A健康な心と体 B自立心 C協同性 E他者や社会との関わり J言葉による伝え合い K豊かな感性と表現		小学校の運動会

カリキュラム表③

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	遠足に行こう			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	10月 第1週	
課題(弱み)	体力がなく疲れてしまう子がいる。			
可能性(強み)	自然の中で生き物や草花に興味を持ちいろいろな発見を楽しみにする姿がある。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		入学に向け長い距離を歩いたことの達成感を味わうことができる。		
②人との関わり		年下の子を思いやりながら手をつないで歩くことができる。		
③もの・こととの関わり		自然の中でいろいろな発見ができる。		
④表現		自然物の色や形、大きさ、手触りなどを感じ、言葉で表現できる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・歩くことで体力をつける。 ・自然に親しんで遊ぶ。 ・友だちと手をつないで歩く。	・公共の遊具で遊んだり、足湯に入る。 ・自然物(木の実や落ち葉)を拾う。	・下見を十分にし、危険のないようにする。 ・道の歩き方や公共の場でのマナーを知らせる。 ・自然物を使った制作を考える。	A健康な心と体 G自然との関わり・生命尊重 H公共心	ごっこあそび

カリキュラム表④

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	ごっこあそびをしよう			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	1月 第4週～2月 第2週	
課題(弱み)	友だちとイメージが共有できない姿がみられる。			
可能性(強み)	話し合いをしたり、協力したりしながら、遊びを展開しようとする姿がある。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		友だちと折り合いをつけながら、自信を持って行動することができる。		
②人との関わり		友だちと話し合い、思いやりを持って接することができる。		
③もの・こととの関わり		ごっこ遊びに必要な物を作ったり、係の仕事をすることができる。		
④表現		言葉で相手にわかりやすく伝えることができる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
友だちと共通のイメージを持って自分たちのやりたいことを作り上げる。	・話し合いをし、やりたいこと、作りたい物を決めていく。 ・必要な物を考え、制作する。	・共通の意識が持てるような声掛けや絵や写真などで視覚支援をしていく。 ・子ども達のイメージしたものが、形になるように作りたい物ができる環境を整える。	C協同性 E他者や社会との関わり F思考力 J言葉による伝え合い	・参観日や降園時など

カリキュラム表⑤

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	大きなさつまいも（さつまいもの収穫をしよう）			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	10月 第3週	
課題(弱み)	さつまいもの生長過程で、生長の変化に気づきにくい。(関心の持続が難しい)			
可能性(強み)	自分たちで収穫することで満足感や達成感を得る。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		役割がわかり自分でやろうとすることができる。		
②人との関わり		生長に関心を持ち、友だちと一緒に世話をすることができる。		
③もの・こととの関わり		数量や形、大きさに興味を持つことができる。		
④表現		感じたことを言葉や絵で表現することができる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・さつまいもの生長過程を知る。 ・友だちと一緒に収穫する事を楽しむ。	・生長過程を見る、知る。 ・収穫をする。 ・さつまいもを調理して食べる。 ・絵を描く。	・生長に関心がもてるように、写真、図鑑や絵本を活用する。 ・収穫後の活動を一緒に考え、収穫の期待を持たせる。 ・子どもの表現を認め、自信をもって描けるようにする。	C共同性 G自然との関わり I数量、形への関心 J言葉による伝え合い K豊かな感性と表現	

カリキュラム表⑥

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	表現遊びを楽しもう（発表会）			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	11月第2週～12月第2週	
課題（弱み）	恥ずかしい気持ちや自信のなさがあり、大きな声で表現できない姿が見られる。			
可能性（強み）	友だちと練習をすることで、一緒に頑張ろうとする姿が見られる。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		相手に伝えようと、自信を持って表現をすることができる。		
②人との関わり		自分の役割がわかり、友だちとの掛け合いを楽しむことができる。		
③もの・こととの関わり		楽器に親しみ、目標を持って楽しく演奏をすることができる。		
④表現		友だちと一緒に歌やセリフ、楽器の演奏を楽しむことができる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・保護者に発表を見てもらうことに期待を持ちながら、当日に向けて意欲的に取り組む。	・やりたい役や楽器を決め、それに取り組む。 ・歌やセリフなどを覚えて表現する。	・セリフや動きなどわかりやすいように大きく伝える。 ・一人一人が頑張ることの大切さを伝え、良い所を認めていく。	B自立心 C協同性 F思考力 J言葉による伝え合い K豊かな感性と表現	参観日

カリキュラム表⑦

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名	冬は友だち			
園・校名	〇〇保育園	カリキュラム・クール	1月第2週	
課題(弱み)	寒さが苦手で、遊びに消極的になる。			
可能性(強み)	雪や氷や霜に興味を示し、楽しむ姿が見られる。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		寒さに負けずに体を動かすことができる。		
②人との関わり		友だちと相談し、遊びを発展することができる。		
③もの・こととの関わり		自然の中の雪・霜を感じるができる。		
④表現		遊びの中で知った冷たさや形の変化を、試して遊ぶことができる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
冬の自然に触れて遊ぶ	いろいろな雪遊び(雪合戦・かまくらづくりなど)を異年齢と一緒に楽しむ。	子どもの気付きや発見を見取り、他の子へ返していく。	C協同性 F思考力 G自然との関わり・生命尊重 K豊かな感性と表現	

カリキュラム表⑧

		○ アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
活動名		豆まきをしよう		
園・校名		〇〇保育園	カリキュラム・クール	1～2月 第1週～第2週
課題(弱み)		行事の理解や制作はできるが、大勢で集まると緊張して不安な姿がある。		
可能性(強み)		自分の生活や気持ちを振り返り、改善を図ろうとする意欲につながる。		
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体		心の中の追い出したい鬼について考え、強い気持ちを持つ。		
②人との関わり		自分の考えや思いを伝えあうことができる。		
③もの・こととの関わり		伝統行事を知り、豆まきを楽しむ。		
④表現		いろいろな素材を使い工夫してお面やマスを作ることができる。		
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・伝統行事である豆まきを知り、園でも家庭でも楽しむ。 ・イメージをもち工夫して制作を楽しむ。	・昔から伝わる行事を知り、友達と一緒に豆まきをする。 ・自分で工夫し、様々な素材を使って作りたいお面を自由に制作する。	・導入から子ども達の発想がふくらむよう環境作りをする。 ・友達や保育士に自分の思いが伝えられるような雰囲気作りをする。	A健康な心と体 E他者や社会との関わり J言葉による伝えあい K豊かな感性と表現	地域の行事

カリキュラム表⑨

		○ アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム	
活動名		うれしい ひなまつり			
園・校名		〇〇保育園	カリキュラム・クール		3月 第1週
課題(弱み)		制作活動に苦手さを感じ、スムーズに進められない姿も見られる。			
可能性(強み)		友だちと一緒に見本を見たり話したりしながら、工夫して制作しようとする姿が見られる。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		友だちと作った作品を認め合うことができる。			
②人との関わり		友だちと一緒に考え合いながら作ることができる。			
③もの・こととの関わり		ひな祭りの由来の話に関心を持って聞くことができる。			
④表現		ひな人形を自分なりに工夫して作ることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽		行事等との関連
ひな祭りの行事を知り、当日に向けて友だちと一緒に楽しく準備をする。	・ひな祭りの由来を知る。 ・ひな人形を作ったり飾ったりする。 ・ひな祭りの行事に参加し、友だちと一緒にひな祭りの行事食を食べる。	・絵本や紙芝居などを使ってひな祭りの由来を伝える。 ・ひな人形の作り方を図などで示し、見てわかりやすいようにする。	B自立心 C協同性 F思考力 K豊かな感性と表現		

カリキュラム表⑩

		○ アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム	
活動名		ありがとう保育園			
園・校名		〇〇保育園	カリキュラム・クール		3月 第1週～2週
課題(弱み)		新しい環境になること、大きくなることは嬉しいが、不安に思う子の姿も見られる。			
可能性(強み)		年長らしい思いやりの心を持って、異年齢の子ども達に接する姿がある。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		自分の成長を実感することができる。			
②人との関わり		友だちと話し合う中で、相手の話を注意して聞くことができる。			
③もの・こととの関わり		感謝の気持ちを持ちながら、制作することができる。			
④表現		言葉、文字や絵などを使い相手にわかりやすく伝えることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
・自分たちが行ってきたことを伝える。 ・自分たちの成長を喜び、学校への期待を持ちながら会に参加する。	・思い出を振り返りながら、話合いをし、在園児に伝えたいことを決める。 ・感謝の気持ちを持ちながら、プレゼント作りをする。	・子ども達が自分たちの成長に気付けるような声掛けをする。 ・学校への期待を膨らめていく。	B自立心 C共同性 D道徳性・規範意識 E他者や社会との関わり J言葉による伝えあい		

カリキュラム表⑪

		アプローチカリキュラム		○スタートカリキュラム					
活動名		学校たんけんをしよう（生活）							
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール		4月 第2～3週				
課題（弱み）		新しい生活が始まったばかりで、教室を出ることに不安を感じる。							
可能性（強み）		自分の教室だけでなく、学校内のほかの場所に興味をもち、知ろうとする姿がある。							
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿							
①心と体		小学校にあるいろいろな場所を知ること、不安を軽減し、小学校生活への期待を高めることができる。							
②人との関わり		先生の説明や友達の説明をよく聞くことができる。 友だちと協力して、行きたい場所に行くことができる。							
③もの・こととの関わり		学校のいろいろな場所について興味をもって巡ることができる。							
④表現		わかったことや知ったことを言葉や絵で表現することができる。							
ねらい		活動内容		支援内容・留意点		11の育ちの芽		行事等との関連	
学校の施設内を先生や友達と一緒に巡ることを通して、校内のいろいろな場所や使い方・そこにいる先生について知ることができる。		・校内の場所について知っていることを出し合う。 ・校内を巡る。 ・言葉で話したり絵を描いたりしてまとめる。		・子どもの気づきを大切にする。 ・すぐに使う場所等については、注意することやルールについて話をする。		D道徳性・規範意識 H公共心 J言葉による伝え合い K豊かな感性と表現		・集会活動 等	

カリキュラム表⑫

		アプローチカリキュラム	○	スタートカリキュラム
活動名	あたらしいともだち（国語）			
園・校名	〇〇小学校	カリキュラム・クール	4月第3～4週	
課題（弱み）	友だちと話したり遊んだりしたい気持ちはあるが、なかなか関わりがもてずに困る姿がある			
可能性（強み）	学習したことを生かして、試行錯誤しつつも、話しかける勇気をもつ姿がある。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿		
①心と体	困難なことに出会っても、気持ちを切り替えて乗り越えようとして、主体的に学習を進めることができる。			
②人との関わり	自分から、親しみの気持ちを持って接することができる。			
③もの・こととの関わり	自分の好きなものやことがらを考えたり、相手の気持ちを注意して聞いたりすることができる。			
④表現	相手に分かるように話したり、様々な表現の面白さに気づいたりすることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連
・話を集中して聞く。 ・話の内容をとらえ、感想をもつ。 ・声の大きさや速さを工夫する。	・これまでの生活を思い出しながら自分の好きなことを話す。 ・友だちの好きなことに興味をもって、聞く。 ・クラスのみんなに、友だちの好きなことを話す。	・質問したり、選択肢から選ばせたりしながら、自分の好きなことを確認させる。 ・友だちにわかりやすく話しているか、興味をもって聞こうとしているか、留意する。 ・笑わない馬鹿にしないなど、発表している友だちの気持ちを考えられるようにする。	C協同性 E他者との関わり F思考力 J言葉による伝え合い	・参観日 ・6年生との交流

カリキュラム表⑬

		アプローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム	
活動名		おいしい給食（学級活動）				
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール		4月 第2週	
課題（弱み）		給食の準備に時間がかかってしまったり、好きな物だけを食べたりする姿が見られる。				
可能性（強み）		みんなで声をかけあいながら協力して運んだり、配膳したりする姿がある。				
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿				
①心と体		給食当番の仕事や食べる時の約束がわかり、守ることができる。				
②人との関わり		おいしく給食を食べるために、友達と協力しながら運んだり、配ったりすることができる。調理員や生産者への感謝の気持ちを持つことができる。				
③もの・こととの関わり		準備することがわかり、自分から行動をすることができる。				
④表現		当番で助けてほしいことを伝えたり、減らしてほしい物を伝えることができる。				
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽		行事等との関連	
給食のきまりや約束を守り、安全に給食を配膳したり、おいしく給食を食べるにはどうしたらよいか考えることができる。	・給食当番のやり方を聴き、仕事を覚える。 ・安全に運ぶ。 ・ルールを守って食べる。 ・食べることの大切さについて話を聴く。 ・下準備など給食をつくる手伝いをする。 ・箸の使い方を知る。	・当番の役割や配膳時のルールを可視化して伝える。 ・減らしてほしい物がないか声をしっかりとかける。	A健康な心と体 C協同性		・思い合い週間、旬間	

カリキュラム表⑭

		アプローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム
活動名	きちんと　せいとん（学級活動）				
園・校名	〇〇小学校	カリキュラム・クール	4月　第1～2週		
課題（弱み）	給食袋や教科書がロッカーの上に出しっぱなしになっている姿がみられる。				
可能性（強み）	使いやすい場所に物を置こうとする姿がある。				
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		自分の持ち物を自分で整頓することができる。			
②人との関わり		決められた場所や自分に割り振られた場所に物をしまうことができる。			
③もの・こととの関わり		学校の棚やロッカーに正しく物をしまうことができる。			
④表現		物の形に合うしまい方を考えることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
自分の持ち物を引き出しやロッカーに整頓してしまふことができる。	・どこに置いたらいいか考える。 ・物ごとに決められた場所を覚える。	・大きさや形に合う場所にしまふとよいことを知らせる。 ・正しくしまっているときの図や写真を示して、視覚的に分かるようにする。	B自立心 C協同性 H公共心 I数量・図形、標識や文字等への関心		

カリキュラム表⑮

		アブローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム
活動名		学校をきれいにしよう（学級活動）			
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール		4月 第3～4週
課題（弱み）		話の聞ける子、聞けない子で活動に差が見られる。			
可能性（強み）		園で習ってきたことを活かしたり、友だちの姿を見たりして取り組もうとする。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		そうじのやり方がわかり、自分なりに取り組もうとする。			
②人との関わり		先生や友だちの姿を見ながら取り組める。			
③もの・こととの関わり		身支度を整え、時間いっぱい取り組める。			
④表現		分担場所のぞうきがけをすることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
教室そうじのやり方（ぞうきんのしぼり方、かけ方）を知り、自分でやろうとする。	・身支度を整える。 ・ぞうきがけのやり方を覚える。 ・園で習ってきたやり方をみんなに伝える。	・正しい身支度の写真を用意する。 ・ぞうきんしぼりの動画、写真を用意する。 ・ぞうきんをどこからどこにかけるか印をつける。	B自立心 C協同性 D道徳性・規範意識 H公共心		

カリキュラム表⑯

		アプローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム
活動名		じょうずにかけるかな（国語）			
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール	4月 第2週～	
課題（弱み）		鉛筆を正しく持って書くことに苦労する姿が見られる。			
可能性（強み）		学習や文字の習得に意欲をもって取り組もうとしている。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		自分なりのめあてをもって、最後まで集中して書くことができる。			
②人との関わり		先生の言うことをよく聞いて取り組める。			
③もの・こととの関わり		文字の形に興味をもち、線や形に注意して書くことができる。			
④表現		習った字を丁寧に書くことができ、単語を文字として表すことができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
正しい姿勢と鉛筆の持ち方で、書き順に注意しながらひらがなを書くことができる。	・線のなぞり書きをする。 ・文字の形を見る。 ・その文字がつく単語を考える。 ・正しい姿勢と正しい鉛筆の持ち方で文字を書く。 ・習った文字を使って単語を書く。	・書くときには鉛筆の持ち方と姿勢の確認をする。 ・子どもの書いた字を見て丸等で評価する。 ・必要に応じて、鉛筆の持ち方補助具を使わせる。	B自立心 I数量・図形、標識や文字等への関心	・参観日（初めての名前の掲示・1年生3学期に書いた名前との比較） …成長がわかります。	

カリキュラム表⑰

		アプローチカリキュラム		○スタートカリキュラム	
活動名		みつけたよ はる（生活）			
園・校名		〇〇小学校	実施時期		4月・5月第一週
課題（弱み）		何をしたいかわからず、友だちや自然となかなか関わりがもてずに困っている姿がある。			
可能性（強み）		自然と触れ合ったり、友だちが楽しく遊んだりすることができる。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①小学校生活を楽しむ		小学校の環境になじみ、安心して生活できる。			
②人との関わり		新しい友だちや先生と活動することができる。			
③もの・こととの関わり		春の生物に親しむことができる。			
④表現		自分の思いを言葉や絵で伝えることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点		11の育ちの芽	行事等との関連
・自然と触れ合って遊び、心地よさを感じたり、自然のもつ不思議さや面白さに目を向けたりする。 ・感じたことをつぶやいたり、身体を動かしたり、絵に描いたりして、自分なりの方法で表現する。	・校内の自然に触れ合えるよう、散歩を繰り返す。 ・登下校中、休み時間などに、見つけたことを発表する機会を設ける。 ・園での経験を紹介したり、真似し合ったりして、遊びを発展させる。	・一年を通じて自然の変化がわかる場所について、重点的に散歩する。 ・発表しやすいようにヒントカードを用意したり、写真を用意したりする。		C協同性 E他者との関わり F思考力 J言葉による伝え合い	・参観日で発表

カリキュラム表⑱

アプローチカリキュラム					○	スタートカリキュラム
活動名		こんにちは あさがおさん（生活）				
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール		5月中旬	
課題（弱み）		あさがおを大切にしたい気持ちはあるが、世話をすることを忘れてしまう姿が見られる。				
可能性（強み）		あさがおの世話をしたり、声をかけたりするなど大切にしている姿がある。				
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿				
①心と体		あさがおを気にしながら生活をし、世話を続けることができる。				
②人との関わり		自分のあさがおの様子について相手にわかりやすく伝えることができる。				
③もの・こととの関わり		あさがおの特徴や育ちやすい環境に目を向けて大切にすることができる。				
④表現		観察してわかったことや感じたことを観察日記に表すことができる。				
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連		
あさがおの世話をしたり、観察したりする活動を通して、あさがおへの親しみをもち、大切にすることができる。	・あさがおの種を植える。 ・水やりや世話をする。 ・あさがおの観察日記を書く。	・子どもの気づきを生かせるように単元展開を考える。 ・水あげを忘れないように行程を絵や写真で表して視覚化する。	B自立心 F思考力 G自然との関わり・生命尊重 J言葉による伝え合い K豊かな感性と表現	・道徳科「自然愛護」 ・夏休みの観察		

カリキュラム表⑱

		アプローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム
活動名	おにいさん おねえさん よろしくね（特別活動）				
園・校名	〇〇小学校	カリキュラム・クール		4月 第3～4週	
課題（弱み）	同じ園出身の子とばかり遊ぶ姿が見られる。				
可能性（強み）	校内の場所や先生、上級生に興味をもっている様子が見られる。				
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		学校のいろいろな人にあいさつをすることができる。			
②人との関わり		クラスの友だちや上級生と仲良く遊ぶことができる。			
③もの・こととの関わり		校内の場所が分かり、生活環境になじむことができる。			
④表現		言葉や絵で自己紹介をすることができる。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
お世話になる上級生によろしくの気持ちをもつことができる。友だちと仲良く遊ぶことができる。	・ペア学年の相手に自己紹介する。 ・お兄さんお姉さんに学校を案内してもらう。	・人との関わりが難しい子は配慮してペアを設定する。	C協同性 E他者や社会との関わり J言葉による伝え合い	1年生を迎える会 ペアの発表と交流 学校探検 縦割り班活動 6年清掃手伝い	

カリキュラム表㉔

		アプローチカリキュラム		○	スタートカリキュラム
活動名		がんばろう運動会（体育）			
園・校名		〇〇小学校	カリキュラム・クール	学校の年間計画による	
課題（弱み）		慣れない指示や動きにとまどいが見られる子がいる。			
可能性（強み）		家の人が見に来てくれる大きな行事で張り切って取り組もうとする。			
育みたい育ちの基盤		願う子どもの姿			
①心と体		見通しを持ち、苦手なことにも挑戦する。			
②人との関わり		今、自分が何をするのか、指示を聞いて行動することができる。			
③もの・こととの関わり		1時間の授業のめあてがわかり、最後まで取り組む。			
④表現		練習してきたことを精一杯やろうとする。			
ねらい	活動内容	支援内容・留意点	11の育ちの芽	行事等との関連	
運動会の参加種目を知り、練習に取り組むことができる。印象に残ったことを言葉で伝えることができる。	・ラジオ体操、体操の隊形、前へならえ、休め、胸つけ、まわれ右の号令で行動する。 ・学年種目の練習に進んで参加する。	・プログラムを写真とイラストを使って流れが見えるようにする。 ・写真に前へならえなど言葉をつけて示す。 ・練習のはじめに何をやるのか伝える。	A健康な心と体 B自立心 C協同性 F思考力 K豊かな感性と表現	・来入児はたひろい	

9 つなぎシート

各園での活動の状況を小学校に引き継ぐために、園では次のような様式で「つなぎシート」を作成し、園校間で情報を共有します。各小学校では、園での活動を踏まえた上で、入学期の活動を編成します。

園名			担任名		
活動名		活動の概要・子どもの姿			
1		・小学校につなげたい活動について記述。「カリキュラム表①～⑩」の活動名もしくは各園の生活面での活動名を記述。 ・ここに挙げる活動名は、担任がクラスの様子を見て判断する。小学校との懇談の中で必要と思われる活動名を追加してもよい。 ・1～10すべてを挙げる必要はない。必要と思われる活動のみでよい。 ・それぞれの活動について、活動の概要や子ども達の様子を記述。 ・主に全体的な子どもの姿について記述。特に気になる子どもの様子があった場合には、個別の子			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
資質・能力の育ち			小学校に引き継ぎたい姿		
			・活動をとおして育った資質や能力、小学校に引き継ぎたい姿について、「11の育ちの芽」に照らし合わせて記述。		

「つなぎシート」記入例

園名		担任名	
活動名		活動の概要・子どもの姿	
1	戸外遊びをしよう	鬼ごっこ、ドッチボール、泥んこ遊びなど、体を動かして遊ぶ。ゲーム的な遊びでは負けて悔しがる姿、次は勝とうと友だちと作戦をたてる姿も見られた。	
2	お散歩に行こう	山に行き、山菜を教えてもらい採ったり、どんぐりを探したりして楽しむことができた。たくさん集めることを喜び、きれいな形を選んで拾う子など、友だちと比べながら楽しんでいた。	
3	楽しい運動会	春から鉄棒を練習し運動会に取り入れる。逆上がり、前回りなど、自分のできることを本番で自信をもってやることができた。練習を積み重ねたリズムは、動きがそろった時の気持ちよさや達成感が味わえ笑顔が見られた。	
4	野菜を育てよう	どの野菜を作り何の料理を食べたいかを話し合い、畑の世話をしてきた。水くれ、草とり、害虫退治など、頑張る姿が見られた。生長の様子も興味を持って見る子が多かった。収穫はとても喜び、カレーなどを作っておいしく味わうことができた。	
5	表現あそびを楽しもう	最初、劇のセリフを一人で言うことを恥ずかしがっていた子も、大きな声で言える友だちの様子を見たり、励まされたりしたことで頑張れるようになり、本番では楽しそうに発表することができた。	
6	ごっこあそびをしよう	やりたい遊びを話し合っイメージを膨らめ、協力して準備を進めてきた。当日は担当の係の仕事をして、招待した年下の子に楽しんでもらうことができ、自分たちも楽しく遊ぶことができた。	
7	楽しい食事	友だちと一緒に机を出して、給食やおやつの準備をする。食べる量や好き嫌いなどの個人差はまだあるが、食育の日などでマナーや食材などについて学び、やってみよう、食べてみようとする姿が見られるようになった。	
8	掃除をしよう	クラスやリズム室の雑巾がけをする。絞り方もだいぶ上手になり、途中で止まらずに雑巾がけができるようになった。自主的に事務室や廊下などの掃除をし、お礼を言われてさらに張り切る姿が見られた。	
9	当番活動をしよう	朝の会で、友だちの前に出て挨拶をしたり、給食当番をしたり、飼っている魚のえさやりなどをする。当番をすることは楽しみで、張り切ってやる様子が見られた。	
10		記入例は、参考になるよう9つの活動例を挙げてあります。作成時には、各園で必要な項目を記入してください。	
資質・能力の育ち		小学校に引き継ぎたい姿	
・友だちと一緒に遊びを決め、体をたくさん動かして楽しむことができる。氷鬼では逃げるだけではなく、仲間の助け方や捕まらない方法なども考えて遊ぶことができるようになった。（A健康な心と体・協同性） ・自分たちで時計を見て、言われなくても掃除の時間がわかるようになった。（B自立心・数量・図形、標識や文字等への関心）		・友だちと関わって楽しく遊んだり、話し合ったりできるようになったが、自分の思いを曲げられず、相手の思いを聞き入れられない姿も見られる。（C協同性・F思考力） ・困ったことが言えず、泣いてしまう子が見られる。（J言葉による伝え合い）	

10 週単位表

小学校での時程に合わせたスタートカリキュラムの実施モデルを、「週単位表」として例示しました。各小学校ではこれを参照し、各校の実情や特長に合わせた週単位表を作成します。

第1週

	4月4日(月)	4月5日(火)	4月6日(水)	4月7日(木)	4月8日(金)
登校				登校後、席についてお絵かき、読書、折り紙などをする。	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など
朝の会				1. 朝の準備の仕方 ・カバンの片付け方 ・提出物の出し方 ・ロッカーの使い方 2. 朝のあいさつ 3. 健康観察	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 読み聞かせ
1校時				時間があれば 4. 歌 5. ジャンケン列車 6. 読み聞かせ	時間があれば 4. 歌 5. ジャンケン列車
2校時				生活 学校たんけん① ・下駄箱の使い方 ・トイレの使い方	生活 きちんと せいどん ・ロッカーの使い方 ・引き出しの使い方 ・整理整頓
業間					
3校時				学活 ・帰りの支度の仕方 ・下校の仕方 ・下後班の確認	生活・図工 新しい友だち① ・好きなものなあに ・クレパスの使い方
4校時					
給食					
清掃			入学式 ・式前の学級指導(仮担任) ・トイレ指導 ・式作法指導(返事の仕方など) ・担任紹介 ・教科書等配布物の説明		
昼活動					
5校時					
帰りの会				1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ	

第 2 週

	4月11日(月)	4月12日(火)	4月13日(水)	4月14日(木)	4月15日(金)
登校	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など				
朝の会	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ				
1 校時	生活 新しい友だち② ・好きなものの紹介	生活・体育 学校たんけん③ ・体育館 ・用具の使い方 ・運動遊び	生活・体育 学校たんけん④ ・校庭 ・用具の使い方 ・運動遊び	生活 学校たんけん⑤ ・校長室、職員室、事務室、保健室など	生活 学校たんけん⑥ ・音楽室、理科室、図書館など
2 校時	生活 学校たんけん② ・避難経路の確認 ・避難の仕方 ・整列の仕方	生活・道徳 新しい友だち③ ・なかよしの約束	発育測定 ・男女別に保健室で測定 ・教室で待機している間の指導	体育 ・並び方 ・からだほぐし ・遊具遊び	生活・国語 学校たんけん⑦ ・こんなものみつけたよ(国)
業間					
3 校時	避難訓練	学活 おいしい給食 ・給食のきまり ・配膳の仕方 ・食べ方 ・食べきれないときの約束 ・片付けのしかた	国語 (30分) ・座る姿勢 ・教科書の開き方 ・いい てんき①	音楽 (30分) ・校歌 ・リズム遊び	国語 (30分) いい てんき② ・話す 聞く ・音読
4 校時		算数(30分) ときどきがっこう① ・なかまの数 ・線で囲んで	算数(30分) ときどきがっこう② ・線でつないで	算数(30分) ときどきがっこう③ ・どっちがおおい ・数図ブロック	
給食		給食準備～給食～片付け ・早め(4校時後半)から給食の準備			
清掃		※しばらくは、清掃は6年生にやってもらう。			
昼活動					
5 校時			地区子ども会		参観授業 (生活・国語)
帰りの会	1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ				

第3週

	4月18日(月)	4月19日(火)	4月20日(水)	4月21日(木)	4月22日(金)
登校	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など				
朝の会	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ				
1校時	国語	国語	国語	算数	算数
	おはなしたのいいな① ・読書のたのしみ	あつまって話そう ・すきなどうぶつ ・2人組で話す ・感想や質問	どうぞよろしく ・好きなものカードづくり ・自分の名前	かずとすうじ④ ・ならべよう ・数の分だけ数図ブロックを並べる	かずとすうじ⑤ ・いってみよう ・くらべよう ・かぞえよう
2校時	算数	国語	交通安全教室	体育	国語
	かずとすうじ① ・5までのかず ・絵と数図と数字の対応	えんぴつとなかよし① ・鉛筆の持ち方 ・書くときの姿勢 ・なぞり書き		・おにあそび ・並び方あそび	なんていおうかな① ・ていねいな言い方 ・ふわふわことば
業間					
3校時	体育	音楽	算数	生活	国語
	・おにあそび ・並び方あそび	・校歌 ・リズム遊び	かずと数字③ ・10までのかず ・絵と数図と数字の対応	春さがし② ・校舎のまわりで春を見つけよう	えんぴつとなかよし② ・ひらがな
4校時	生活	算数	道徳		
	春さがし① ・校庭の春をみつけよう	かずと数字② ・5までのかず ・いくつといくつ	がっこう だいすき		
給食				家庭訪問	家庭訪問
清掃					
昼活動					
5校時					
	1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ				

第 4 週

	4月25日(月)	4月26日(火)	4月27日(水)	4月28日(木)	4月29日(金)
登校	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など				昭和の日
朝の会	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ				
1校時	生活 春さがし③ ・学校のまわりで春を見つけよう	国語 えんぴつとなかよし③ ・ひらがな	国語 うたにあわせて あいうえお①	国語 えんぴつとなかよし④ ・ひらがな	
2校時	学活 1年生を迎える会の準備①	国語 なんていおうかな② ・やってみよう(ロールプレイ)	学活 1年生を迎える会の準備②	算数 なんばんめ①	
業間					
3校時	体育 ・ラジオ体操 ・かけっこ ・おにごっこ	音楽 歌でなかよし① ・歌にあわせて体を動かす	生活・国語 おにいさんおねえさんよろしくね ・自己紹介 ・6年生と一緒に遊ぶ	児童会 1年生を迎える会	
4校時				道徳 きもちのよい せいかつ	
給食	家庭訪問				
清掃	家庭訪問				
昼活動	家庭訪問				
5校時					
帰りの会	1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ				

第 5 週

	5月2日(月)	5月3日(火)	5月4日(水)	5月5日(木)	5月6日(金)
登校	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など	憲 法 記 念 日	み ど り の 日	こ ど も の 日	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など
朝の会	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ				1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ
1 校時	生活				学活
	春さがし④ ・見つけた春をおはなししよう				連休のお話をしよう
2 校時	国語				体育
	うたにあわせてあいうえお②				運動会がんばろう①
業間					
3 校時	図工				国語
	ねんどあそび				えんぴつとなかよし⑤ ・ひらがな
4 校時	算数				算数
	いくつといくつ① ・6の合成・分解				いくつといくつ② ・7の合成・分解
給食					
清掃					
昼活動					
5 校時	学活				国語
	連休の過ごし方				あさの おひさま
帰りの会	1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ				1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ

第 6 週

	5月9日(月)	5月10日(火)	5月11日(水)	5月12日(木)	5月13日(金)
登校	・カバンの片付け ・提出物 ・お絵かき、読書、折り紙など				
朝の会	1. 朝のあいさつ 2. 健康観察 3. 歌 4. 読み聞かせ				
1 校時	国語 えんぴつとなかよし⑥ ・ひらがな	国語 えんぴつとなかよし⑦ ・ひらがな	国語 えんぴつとなかよし⑧ ・ひらがな	国語 えんぴつとなかよし⑨ ・ひらがな	国語 えんぴつとなかよし⑩ ・ひらがな
2 校時	国語 たのしいな ことばあそび	音楽 歌でなかよし② ・かもつ列車 ・ひらいたひらいた	国語 はなのみち①	算数 いくつといくつ④ ・9の合成・分解	体育 運動会がんばろう③
業間					
3 校時	体育 運動会がんばろう②	図工 スタンプ遊び	算数 いくつといくつ③ ・8の合成・分解	生活 こんにちは あさがおさん② ・たねまき ・水やりのしかた ・観察のしかた	国語 はなのみち③
4 校時	算数 いくつといくつ② ・7の合成・分解		道徳 あかるい あいさつ		算数 いくつといくつ⑤ ・10の合成・分解
給食					
清掃					
昼活動					
5 校時	生活 こんにちは あさがおさん① ・あさがおとの出会い ・たねの観察	学活 検査の受け方 ・並び方 ・検査の順番	視力検査	国語 はなのみち②	聴力検査
帰りの会	1. 帰りの支度 2. 配布物の確認 3. 帰りのあいさつ				

あとがき

これまで、2年間をかけて「おかや絹結プログラム」の編纂を進めてきました。保育園・小学校・市行政当局の立場から、それぞれ忌憚のない意見を出し合い、よりよいものを創りあげようと議論する過程は、すべて子どもたちの健やかな成長を願っての取り組みでした。

子どもたちは、ひと・もの・ことに関わる豊かな環境の中で育ちます。園から小学校へと学びの場を移す子どもたちにとって、大きく変化するその環境を整えることは私たち大人の務めでもあります。

それぞれの園や小学校での取り組みを共有の財産とし、子どもたちの育ちを岡谷市全体で支えていくことが、この「おかや絹結プログラム」の目的であり、そのために、プログラムの内容について、この先も協議・検討を重ねていくことが欠かせません。

これまでご協力いただいた方々のご尽力に感謝申し上げますとともに、この「おかや絹結プログラム」が、今後更に充実したものとなり、子どもたちの健全な育成に寄与していくことを切に願っています。

令和4年3月
委員長 井出 誠一

岡谷市アプローチ&スタートカリキュラム推進委員会

<委員長>	井出 誠一（岡谷田中小学校長）	令和2・3年度
<副委員長>	小林 博（小井川小学校長）	令和2・3年度
<委員>		
（市関係）	岩本 博行（教育長）	令和2・3年度
	城田 守（教育部長）	令和2年度
	白上 淳（教育部長）	令和3年度
	両角 秀孝（教育総務課長）	令和2・3年度
	原 尚彦（子ども課長）	令和2・3年度
	宮澤 俊一（保育主幹）	令和2年度
	牛澤 孝太郎（保育主幹）	令和3年度
	丸山 和夫（子ども総合相談センター長）	令和2・3年度
	増沢 洋子（子ども総合相談センター主幹）	令和2・3年度
（園関係）	田中 美晴（神明保育園 園長）	令和2・3年度
	上條 美奈子（横川保育園 園長）	令和2年度
	有賀 美千代（つるみね保育園 園長）	令和3年度
	名和 雅子（小口保育園 主査）	令和2・3年度
	武井 智子（あやめ保育園 主査）	令和3年度
	納谷 志織（西堀保育園）	令和2・3年度
	中村 由香（あやめ保育園）	令和2年度
（小学校関係）	林 淳子（川岸小学校 教頭）	令和2年度
	両角 祥子（川岸小学校 教頭）	令和3年度
	金井 敬司（長地小学校～神明小学校）	令和2・3年度
	森杉 ちづえ（湊小学校）	令和2年度
	森野 真美（上の原小学校）	令和2年度
	宮坂 哲也（神明小学校）	令和2年度
	小椋 潤（湊小学校）	令和3年度
	依田 綾乃（上の原小学校）	令和3年度
	藤野 美和（長地小学校）	令和3年度

